

Historians' Workshop Annual Report 2024

東京大学 歴史家ワークショップ
2024年度活動実績



「歴史家ワークショップ(HW)」では 1. 国際発信力強化 2. 知識共有・ピアサポート
3. 社会との成果共有 を活動の柱とし、東京大学の予算によって各種イベントを企画・
運営しています。詳細につきましては、ウェブサイト <https://historiansworkshop.org/> をご参照ください。



歴史家
ワークショップ
Historians' Workshop

1. 国際発信力強化

リサーチ・ショウケース

Research Showcase

リサーチ・ショウケースは、英語その他の外国語で学会発表に挑戦したいと考える研究者を応援するイベントです。発表者は事前に発表原稿を準備し、その原稿にHWの協力者がフィードバックをします。イベント当日は、専門分野をかならずしも共有しないオーディエンスに自身の研究を伝える8分間のプレゼンテーションと7分間の質疑応答（ドイツ語の場合は10分間のプレゼンテーションと10分間の質疑応答）をおこないます。また、参加者の投票により優秀な発表者に審査員賞と聴衆賞を授与します。

2024年度は、英語版とドイツ語版各1回をハイブリッド形式で開催し、計16名が発表しました。発表原稿に対して事前にフィードバックを行う「レビューアーズ・カレッジ」にも、過去の発表者を中心にのべ22名の研究者が参加し、コメントの仕方とともに、同僚・後輩との支え合いの大切さを学びました。

2016年度から大阪大学・京都大学・名古屋大学・東北大学等との共催で全国展開されてきた本シリーズは、2024年度までに総計192名の若手研究者に発表の機会を提供したことになります。

【企画・運営】

鈴木路子、平井正人（歴史家ワークショップ事務局）、峯沙智也（東京大学）



第 19 回リサーチ・ショウケース

2024年7月19日 発表者 10 名/校閲者 15 名/参加者 40 名

司会：平井正人

コメンテーター：サマンサ・ランダウ（東京大学）、ヒロ・ヒライ（歴史家ワークショップ事務局）

第3回ドイツ語リサーチ・ショウケース

*東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センターDESK との共同開催

2024年11月26日 発表者6名/校閲者7名/参加者 22 名

司会：峯沙智也（東京大学）

コメンテーター：イングリット・カウフマン、ルーベン・ククリンスキ（東京大学）、村瀬天出夫（聖学院大学）

多言語論文執筆シリーズ

Multilingual Writing Series

多言語論文執筆シリーズは、研究者が直面する「言語の壁」を乗り越えることを目指す場です。登壇者には様々な言語での博士論文・単著などの執筆経験だけでなく、執筆の苦労や執筆を通じて得た学び、さらには様々な言語で執筆するに至った経緯や留学・国際学会での体験などをざっくばらんにお話しいたします。

本シリーズは、大学院生やポスドクの企画・運営・ファシリテーションによって2020年度にスタートしました。近年は英語以外の言語での経験談や、日本の大学で研究する国外出身の研究者にも注目しながら活動しています。2024年度は計3回開催しました。

【企画・運営】

磯永夏妃、中井杏奈（東京外国語大学）、藤本大士（ハイデルベルク大学）、ザヘラ・モハッラミプール（国際日本文化研究センター）、森江建斗（京都大学）、山下大喜（山口大学）、山田智輝（バーミンガム大学）



多言語論文執筆シリーズ 19

2024年9月4日 参加者 37 名/オンライン

司会：中井杏奈

講師：加藤有子（名古屋外国語大学）

多言語論文執筆シリーズ 20

2024年11月28日 参加者 15名/オンライン

司会：山下大喜

講師：山本孟（山口大学）

多言語論文執筆シリーズ 21

2024年12月7日 参加者 41名 / ハイブリッド

会場：国立民族学博物館

司会：ザヘラ・モハッラミプール

講師：金志映(キム・ジヨン) (韓国・淑明女子大学校)、セン・ラージ・ラキ(金沢大学)、ルカーシュ・ブルナ(実践女子大学)

英文校閲ワークショップ English Revision Workshop

英文校閲ワークショップは、参加者による英文の原稿を対象として、「読みやすさ」とその背景にある「ロジック」を読み解き、質の高い推敲を自力で始められるようにすることを目指します。本シリーズで校閲を受けた原稿が海外の雑誌に受理されたこともあり、各地で歴史的アプローチを用いて研究に取り組む大学院生・研究者に開かれたトレーニングの機会を提供することで、比較的規模の小さな研究領域でも国際化に必要な切磋琢磨が可能となっています。

2024年度は英文校閲ワークショップを10回、そして原稿検討会を3回開催し、書籍化の作業を進めました。

【企画・運営】

山本浩司(歴史家ワークショップ事務局)、安平弦司(京都大学)、篠田知曉(東京大学)

第6期英文校閲ワークショップ

2024年10月3日～2月20日

全10回/参加者のべ約200名/各回平均約20名/ハイブリッド

原稿検討会

2024年9月9日～11月25日

全3回/参加者各回平均約6名/オンライン

アカデミック・プレス・ウィーク Academic Press Week

アカデミック・プレス・ウィークは、英米の大学出版局編集者をお招きし、英文の図書刊行をお考えの学内外の教員や研究者の皆様を対象として、国際シンポジウム及びワークショップを開催するものです。既に出版を見据えた原稿をお持ちの方には、各出版局編集者との個別相談の場を設けます。

初年度となる2024年度は、秋季に3日間開催しました。

【企画・運営】

ヒロ・ヒライ、鈴木路子(歴史家ワークショップ事務局)

主催：東京大学人文社会科学国際化推進センター(設立準備中)

第1回アカデミック・プレス・ウィーク

2024年10月31日～11月2日

参加者のべ81名/ハイブリッド

司会：ヒロ・ヒライ

講師：向山直佑(東京大学)

招聘編集者：Chris Harrison (Cambridge University Press), William Achauer (Springer & Palgrave Macmillan), Juno Kawakami (Springer Nature)

クインテッセンス Quintessence

クインテッセンスは、2024年5月から開始された国際セミナーです。2024年9月に始まった第2シーズンから歴史家ワークショップの主催イベントになりました。毎回1名の研究者をゲストに迎え、英語での発表(約30分)と質疑応答のスキルを鍛える機会をハイブリッド形式で提供しています。また、どなたでも登録不要でご参加いただけます。詳しいプログラムは専用サイトをご覧ください。

<https://www.quintessence.tokyo/>

【企画・運営】

ヒロ・ヒライ(歴史家ワークショップ事務局)

歴史家ワークショップ- CIRJE 共催ワークショップ HW - CIRJE Workshop

国内外の研究者をお招きする国際シンポジウムを積極的に主催・共催し、最新の歴史研究を広く共有する場をつくるとともに、若手歴史研究者が自らの関心事にそってシンポジウムを企画する機会も提供しています。

2024年度は計1回開催しました。

【企画・運営】

鈴木路子(歴史家ワークショップ事務局)

追悼と調査のための身体

— 戦後長崎における科学と宗教と原爆犠牲

*日本経済国際共同研究センター(CIRJE)との共同開催

2024年6月28日 参加者4名

発表者：中尾麻伊香(広島大学)

2. 知識共有・ピアサポート

日本西洋史学会特別ワークショップ Seiyoushigakkai Workshop

日本西洋史学会特別ワークショップは、同学会の年次大会で開催される学会共催型のイベントです。研究成果発表の国際化から、歴史研究者のワークライフバランスまで、いま日本で歴史研究者であることに関わるさまざまなトピックを取り上げています。

日本西洋史学会ワークショップ
「ポスト・コロナの西洋史研究：リモート、デジタル、コスト」
2024年5月19日 参加者 75名
司会：高橋亮介（東京都立大学）
発表者：小風尚樹（千葉大学）、原田晶子（川村学園女子大学）

コーヒータイム・シリーズ Coffee Time Series

コーヒータイム・シリーズは、研究の楽しさ、研究にまつわる悩みなどを気軽に共有し助け合える場をつくろうと、国内外の修士・博士課程に在籍する大学院生やポスドクが中心となって、2020年度より企画・運営しているオンライン・イベントです。孤独になりがちな大学院生・研究者が分野を横断して集い、アカデミアの外の人たちとも人間的なつながりを構築することを目的としています。

2024年度は、本シリーズを計3回開催しました。

【企画・運営】
赤崎真耶（モンペリエ第三大学）、大津谷馨（東京外国語大学）、櫻田宗紀・篠田知暁・村山木乃実（東京大学）、北川涼太（広島大学）、新田さな子（京都大学）、藤田風花（大阪公立大学）、榎野翔（ダブリン大学）、市川佳世子（慶應義塾大学）

Coffee Time Series 14
「研究と保活：保育園探しの問題と工夫」
2024年6月28日 参加者 24名
司会：櫻田宗紀 発表者：大杉千尋（跡見学園女子大学）

Coffee Time Series 15
「Youはなぜ博士課程へ!? ～文系の就職と進学」
2024年9月3日 参加者 25名
司会：新田さな子 発表者：坂野水咲・熊崎斗吾（京都大学）

Coffee Time Series 16
「研究に携わる人たちのためのネットワーク・マッピング・ワークショップ」
*東京大学ジェンダー・エクイティ推進オフィスとの共同開催
2024年12月6日 参加者 16名
司会：村山木乃実 発表者：田野井慶太郎・久保京子（東京大学）

3. 社会との成果共有

歴史研究者の最新の知見を社会に還元するため、参加型ワークショップや連続講座などを企画しています。

2024年度は、エンターテインメントを通じた歴史との関わり方に着目する「ウラガワ!」シリーズを計2回、歴史研究者を高校に派遣するプロジェクト「高校で学ぶ歴史学の最先端—若手研究者と高校生の対話」を計4回開催しました。

【企画・運営】
ウラガワ!：新田さな子（京都大学）、吉田瞳（京都大学OG）
高校で学ぶ歴史学の最先端：木内翔（東海中学・高等学校）、中辻柚珠（京都大学）



『アンナ・コムネナ』のウラガワ!
2024年7月6日 参加者 59名 / ハイブリッド
登壇者：佐藤二葉、岩間梓（星海社）、沼大地
司会：新田さな子・吉田瞳

超時空☆歴史実践のウラガワ!
2024年3月15日 リアルタイム視聴者 12名 / オンライン
登壇者：渡辺拓磨（株式会社 Highsto）、徳原拓哉（神奈川県立横浜国際高校）
司会：吉田瞳

高校で学ぶ歴史学の最先端
—若手研究者と高校生の対話
2024年6月18日、9月5日、11月27日、2月10日
講師：藤田風花（大阪公立大学）、新田さな子（京都大学）、石川雄一（上智大学）、平井正人（歴史家ワークショップ事務局）
派遣先：東海中学・高等学校、兵庫県立神戸高等学校

なお、2024年7月17日、東京都立国際高校の模擬授業の視察のため東海中学・高等学校の教員1名を派遣しました。

共催・協力イベント、広報活動等

HINES 構想を考える ―歴史学の国際化と史料集編集―

*史料編集所 松方冬子先生との共同開催

2024年6月21日 登壇者5名/参加者66名

第157回(通算189回)デジタルアーカイブサロン「論語と算盤オンライン」～ 渋沢栄一の言葉と思考を知るためのプラットフォーム

*アートドキュメンテーション学会との共同開催

2024年12月13日 登壇者1名/参加者33名

鈴木路子特任研究員が米国コロンビア大学出版より英文の学術書 *Humanitarian Internationalism Under Empire: The Global Evolution of the Japanese Red Cross Movement, 1877-1945* を刊行し、以下のイベントに登壇しました

2024年10月2日

明治神宮国際神道文化研究所・ロンドン大学 SOAS 共催 出版記念講演会

2025年2月4日

Modern Japan History Association (日本近現代史学協会) 主催 オンライン出版記念討論会



HW の取り組みをより多くの皆さまに知ってもらうために配布しているリーフレットを2024年9月にリニューアルしました。東京大学本郷キャンパスのUTCC(東京大学コミュニケーションセンター)にも配架しています。



主催・共催イベント等の最新情報をメールで配信しています。ウェブサイトのフォームからご登録ください。

<https://historiansworkshop.org/>

メーリングリスト登録者数: 288名増、計1,246名(2025年3月末日現在)

寄附への御礼

2024年度はのべ33名の皆さまより総額541,000円のご寄附をいただきました。

(お申込ベース、2025年3月末日現在)

事務局メンバー一同、心より御礼申し上げます。

歴史家ワークショップ事務局



寄付はこちらから

歴史家ワークショップ支援基金